

インフルエンザの流行する季節が目前となってきました。

毎年、インフルエンザに罹患された患者さまが多数来院されます。病院が極めて多忙なこの時期に、職員がインフルエンザに罹患して欠勤し、患者サービスの低下を招かないよう、また患者さまへの感染源にならないように万全の対策を取りましょう。

## インフルエンザ予防対策

- ① ワクチン接種
- ② 手洗い

インフルエンザの流行期には、咳やくしゃみでウイルスが手に付着し、色々な場所を触っています。インフルエンザウイルスはドアの取っ手やテーブルの表面に2時間以上も生息出来る事が確認されており、感染予防には手洗いが重要です！

- ③ 咳エチケット

咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方には、マスクの着用を促してください。マスクは、飛沫の吸入を抑えるだけでなく、汚染された手で鼻や口を触る機会が減り、接触感染の防止に有効です。

インフルエンザ感染者は発症の1日前からウイルスを周囲に発散しています。したがって、流行時期には、症状のあるなしに関係なく、マスクを着用することによって、周囲へ感染が広がるのを抑える効果がより高くなると考えられます。

マスクを持っていない方には、有料である旨を了承して頂いたうえでマスクを配布してください。

\* 処置伝に「マスク」と記入すれば1枚20円で配布可能です。



## インフルエンザワクチンの職員接種を11月4・6・7日に実施します

インフルエンザの予防にはインフルエンザワクチンの接種が極めて重要です。

### 【インフルエンザワクチンについて】

- ▶インフルエンザワクチンは不活化ワクチンで、接種してもインフルエンザの症状（病原性）が現れることはありません。
- ▶インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかります。
- ▶妊娠14週以降の妊婦・授乳婦もワクチン接種は可能です。



## インフルエンザに罹ったら



インフルエンザを疑う症状がある場合は、患者への感染源となるため無理な出勤は控えましょう。

職員がインフルエンザに罹患した場合は、解熱後3日間は休業となっています。（解熱して48時間以上経過してから復職してください）

抗インフルエンザ薬を服用すれば平均2日で解熱しますが、その時点でも8割以上はウイルスが残存しており感染源となる可能性があります。

解熱しても感染源となる可能性があるため、発症後10日間はマスクを着用をお願いします。

### 感染制御室からのお願い

就業制限が必要な感染症に職員が罹患した場合は、**所属長より感染制御室へ報告**をお願いいたします。

